

平成26年5月21日

農作物生育・技術情報 1号

日高農業改良普及センター日高西部支所
JA平取町 JA門別 JAとみかわ

1 水稲生育状況（5月15日現在）中苗（日高町・平取町平均）

5月中旬は平均気温が高めに経過したことにより、生育はやや進みました。天候条件の良い日に移植し、風の強い日、極端に寒い日は移植を避けてください。

品種名	生育状況			遅速 日数	技術対策
	項目	26年	平年		
ななつぼし	草丈	11.8cm	10.5cm	+ 1	苗質の目標 中苗：草丈10～12cm、葉数3.1葉～ 成苗：草丈10～13cm、葉数3.6葉～
	葉数	3.1葉	2.9葉		

移植直後～活着期までの水管理

時期	目標水温	水深	水管理の注意事項
移植直後～ 2日目	22～25 最低15以上	通常2～3cm 1	移植直後は、苗が埋没しない程度に入水し、止水管理で苗を保護する。
移植3日目～ 活着まで		通常3～4cm 1	止水管理を行う。 畦畔等に漏水がないか確認する。
活着期～	23 昼間30 夜間15	通常4～5cm 1	低温が予想される時は、深水管理で苗を保護する。 かんがい水は早朝に行い、止水管理を行う。

1：低温や強風等が予想される場合は、草丈の3/4の水深にします。

品種の管理には十分注意し、異品種混入を防ぎましょう！

2 主要野菜の生育状況と技術対策

生育状況や草勢にあわせた追肥とかん水管理をしましょう。

作物名	生育状況	技術対策
トマト ハウス桃太郎 桃太郎 桃太郎8	3月定植は第1花房収穫中で第5～6花房が開花している。4月からの好天に恵まれ生育は順調に進んでいるが、第3花房直上葉から葉先枯れ症状が見られたり、第3～4花房でがく枯れ症状が見られている。	トマトの草勢を見ながら追肥量とかん水量を加減し、葉先枯れ症状対策として、重炭酸カリ等で補う。また、高温・乾燥時には落花やがく枯れが発生しやすくなるので、晴天時には多めにかん水をする。さらに、曇天続きになると葉先からの灰色かび病の発生が懸念されるので、摘葉や防除を行う。

ハウス軟白ねぎ 北洋、北の匠等	・一部、べと病、小菌核腐敗病が発生している。	・ハウス内の換気に努め、湿気がこもらないようにする。 ・多発した場合は散布水量を多くする。
ハウス立茎アスパラガス	・生育は平年並みに経過している。	・例年に比べ、降雨量が少ないため、土壌水分不足に注意する。

* 日高管内でネギアザミウマに対する合成ピレスロイドの抵抗性が確認されました。この抵抗性は抵抗性の強いタイプです。今後は合成ピレスロイド系薬剤の連用を避け、オートーション防除を行いましょう。

3 畑作物の栽培管理

(1) 秋まき小麦：幼穂形成期以降の分追肥

適正な分追肥により収量、タンパクの向上を目指しましょう。

施肥窒素量～幼穂形成期 4 kg/10a、止葉期 4～6 kg/10a

(2) 豆類：は種作業

大豆、小豆の発芽には地温が10℃以上が必要です。晩霜などに注意し適期は種に努めましょう。

4 サイレージ用とうもろこしの雑草対策

雑草が多い圃場は、「は種直後から出芽前までに行う土壌処理」が有効です。

土壌中に処理層を形成し雑草を枯死させるので、播種床の整地を丁寧に行い処理層をきれいにつくることがポイントです。

除草剤使用例

商品名	使用方法	10a当たり 使用量	主な対象雑草				
			シロザ	タデ類	ハコベ	ツククサ	一年生 イネ科
ゲザノン フロアブル	全面土壌散布 は種後～出芽前 (雑草発生前)	200 ～ 400 ml					
モーティブ乳剤	全面土壌散布 は種後～ とうもろこし2葉期 (イネ科雑草2葉期まで)	200 ～ 400 ml					

5 農作業安全対策～農作業事故が多い時期です!!～

春作業の最盛期です。余裕を持った作業計画で、事故防止に努めましょう。

昨年は15件の死亡事故が起き、6月が一番多く発生しています。

今年は雨が少なく、作業が前倒しで進んでいます。作業予定を事前に確認しあい、適正な労働配分を考慮しましょう。

